

'94ラリーアート賞"ドライバー・オブ・ザ・イヤー"

'94全日本ラリーBクラス
シリーズチャンピオン

鎌田 豊 (CMSC 道北)

'94全日本ダートラAⅣ
クラスシリーズチャンピオン

北村和浩 (CMSC 岐阜)

両
選
手

が受賞!



12月9日、'94ラリーアート賞"ドライバー・オブ・ザ・イヤー"の表彰が行われました。'94年度は、ラリー部門でCMSC道北の鎌田豊選手、ダートトライアル部門でCMSC岐阜の北村和浩選手が受賞いたしました。鎌田選手は'94全日本ラリー選手権シリーズBクラスに三菱ミラージュで参戦して2勝を挙げ初のシリーズチャンピオンを獲得。「19年目にして初めて、念願の日本一になれて本当にうれしく思っています。'95年も'94年以上に頑張りますので、皆さんも気合いを入れて頑張って下さい。本当にあり

がとうございました。」とコメントにもある通り感激ひとしおといったところ。また、'94全日本ダートラAⅣクラスシリーズチャンピオンに輝いたCMSC岐阜の北村和浩選手は「'93年の骨折から立ち直ってから、焦る気持ちを押さえながらの1戦目から優勝という好スタートを切れました。苦手な丸和を克服した5戦目で優勝し3勝目を挙げてこの



鎌田選手の走り喜びの表彰式(上下段とも左)、北村選手の走り喜びの表彰にて(上下段とも右)

栄冠を獲得できました。来年もより一層頑張ります。

ありがとうございました。」と今年も快走を見せてくれそうです。

CMSC群馬 飯塚恒守

'94香港～北京ラリーに参加して

10月22～28日の1週間で行われた香港～北京ラリーに三菱ランサーディーラーチームのディーラーメカニックとして参加してきました。

私は光栄にも株式会社コ札幌社長の河崎さん、ラリーアートの増岡さんとサービスカーに同乗させてもらい、交替で運転とナビゲータをしてサービスポイントを移動するという形でした。河崎さんは篠塚選手のランサーの足廻りを作られたとの事で、メカニックとしての知識とアイデアは素晴らしいものがあり大変勉強になりました。増岡さんのドライブテクニックはサービスカーの運転でも驚くものがあり、もしこのラリーでサービスカー部門があったら優勝していたのではないかと思います。また2人とも気さくな方でとても楽しく過ごせました。

今回は3台態勢ということでラリーアートヨーロッ

広大な国で貴重な経験

パ、ラリーアート香港等との合同チームでしたので各国の方々とコミュニケーションには言葉も十分に通じず戸惑いました。最初のサービスでは緊張も手伝って何をやっているのか分からないような状態でしたが、徐々に慣れてくると言葉のもどかしさも楽しさに変わり、サービスでも適度な緊張で作業が出来ようになりました。

余裕がある時は中国のすばらしい景色が目につきます。中国の景色は変化に富みスケールが大きく、ヨーロッパ風の田園風景やグランドキャニオンのような所もあり、まるで世界中を旅行しているようでした。移動途中で屋台で食べたラーメンも忘れられない味です。その他通常ではまず得られない経験を数々しましたが、中でも最終日早朝1時からのサービスカーの移動で視界10m前後の濃霧が延々200kmぐらい続く高速道路を、サービスタイムに間に合う為に睡魔&疲労と戦いながら必死で目をこらして運転したことが一番印象に残っています。ゴール後、首筋が張り3日位首が回りませんでした。きっと河原さ



ん、増岡さんも寿命が縮む思いだった事でしょう。今回はどの程度チームの役に立てたか分かりませんが、出来ればもう一度何らかの形で参加してみたいと思っています。また、天安門広場の感激のゴールまで無事とり着けたのは、選考会からお世話になりましたラリーアート、タスカエンジニアリング、三菱自動車他ディーラーメカニックの方々、迷惑、怖い思いをさせたであろう河崎さん、増岡さんそして応援していただいた皆様のお陰だと感謝しております。ありがとうございました。

会員の皆様の よりいっそうのご活躍を

あけましておめでとうございます。

CMS Cが発足して既に30年余。その間、モータースポーツを愛する者達の集まりとして順調に発展し続けて参りました。既に、全国に19支部700余名のメンバーを擁する大組織となったいま、会員の皆様には、今後もCMS C会員であるというプライドを

大切にしていだきたいと願うと同時に、これまで会の発展をずっと支え続けて下さいましたことを、いまさらながら厚く感謝致したいと存じます。

さて、会員の方々にとって、昨年はどう的一年でしたでしょうか。年頭にあたりまして、皆様それぞれに昨年を振り返って感じる事、新しい年に対する期待や希望など、様々な思いがおりだと想像致します。わがCMS Cにとりましては、'94年はなかなか充実した一年であったのではないのでしょうか。全日本チャンピオンを前年に続き2人、そし

て地区チャンピオンも3人輩出する等各種競技会等ではクラブ員の活躍ぶり、上位入賞の嬉しい知らせが続々と聞こえてきました。各支部の主催大会は、年々盛大になってきていますし、着実にモータースポーツの普及に貢献し続けていると考えております。最後になりましたが、会員の皆様がいっそうご活躍されることを、あらためてお祈り申し上げます。今年もどうぞよろしくお願い致します。

(CMS C会長 外川一雄)

CMSC香川 高竹優之

G地区ダートLANクラスシリーズチャンピオン

9戦中優勝8回、2位1回。これが私の'94年の戦績です。ラリーからダートに転向して8年程になりますが年間8勝というのは過去最多勝率であり、5年連続でチャンピオンになる事ができました。

4月に開催された全日本第2戦の四国ラウンドは、地元ということで家族や友人の応援を受け、大激戦の中トップテンに入賞でき非常に思い出深いイベントとなりました。車は今シーズンもランサーEvo. Iで参戦してきました。車輛規定の変更やEvo. IIの登場で苦しい戦いでしたが、この様な成績を収めることができ最高のシーズンでした。今年も地方選手権チャンピオンと全日本上位を目指し頑張ります。



▲高竹選手

▼栗澤選手



CMSC道北 栗澤 傑

A地区ラリー-Bクラスシリーズチャンピオン

A地区ラリーシリーズに参戦して足掛け5年目となる私にとって、チャンピオン獲得は長年の目標でした。'93年はシリーズ5位と低迷したこともあり、'94年も目標を達成出来なければ、'95年は活動を休止しようとして「背水の陣」の危機感で望みました。その甲斐あって、自分でも順調すぎて不安になるほどの快進撃を遂げることが出来ました。今回目標を達成できたのは、所属するカマスポーツ代表でCMS C道北会長である鎌田さんを始めとする、応援していただいた皆様のおかげと感謝しております。有難うございました。今年からはプライベートドライバーとして、新たな目標に向け頑張ります。

CMSC仙台 11月13日

もみじ狩りダートトライアル'94

CMS C仙台恒例のもみじ狩りダートトライアルがオートスポーツランド川崎で11月13日に開催されました。今回でもう6回目になります。思えば毎年悪天候で晴れの日のイベントの記憶がありません。今回は宮城県県の最終戦でもあり、エントラントは気合いが入っています。

当日は、やはり今回も朝からの強い風、時々雨が降ってくる最悪の天気の中、オフィシャルはガタガタふるえながらコースに入って行きました。参加台数は58台。今回のコースは一言でいうとミスコースしやすいコースです。エントラントはミスコースのないように！

クラスIはシティをドライブする丹治選手が優勝。クラスIIは13台中9台がミラージュで殆どワンメイ

ク化していました。4WDと2WDのMIVECの一騎打ちでしたが、やはり2WDのMIVECは速かった。白坂選手が1分10秒台のタイムで他車をぶちぎり優勝しました。30PSの差がタイムに出ました。クラスIIIはランサーエポリューション一色と言ってもいいほど。1トライ目に1分8秒、2トライ目に1分7秒を出した折川選手でしたが2トライ目のパイロンタッチで4位へ。残念の一言です。あの速さにはスタッフ一同驚きました。結果は安定した走りを見せた、はるばる横浜よりエントリーしてくれた梅津選手が優勝しました。クラスIVはタイヤのバーストなどでスタート順が変わったりしたものの大きなトラブルはありませんでした。クラスVではついに転倒車が出ましたが、1回転し、またコースに復帰しドアが開きながらも完走しました。

レースを終え、CMS C仙台の「名物」いも煮で心と体をあたためました。表彰式は太っ腹のCMS C仙台と佐藤会長の、年に一度の大判振舞い。優勝



者は飲酒運転にならないようにシャンパンの代わりに三ツ矢サイダーのシャワー!?今回からこれにしました。皆さん免許証は大切に。たくさんの商品を手に入れたら帰路につきました。エントラントの方々、どうもありがとございました。今回もトラブルなしで順調にイベントを終了することが出来ました。クラブ員の皆様ご苦労様でした。

(CMS C仙台 高橋 清)

只今健闘中！～オールスターダートラリー

大井こずゑ選手、涙の逆転優勝！

「1日目のミスコースのダメージも2日目は何とか薄れ、自分の精一杯の走りをして逆転できました。今年は、楽な一年ではなかっただけに喜びも涙へともわかりました。私を支えてくれる方々の大きさを再認識させられたこの一年、感謝の一言です。」



レディースクラス
CMSC群馬
大井こずゑ



レディースクラス
CMSC浜松
西川美佳

9月11日
岩手三菱
スリーダイヤ
ジムカーナ

10月2日
岩手三菱
ダイヤモンド
トライアル

CMSC岩手秋の主催イベント

初のジムカーナイベント主催

去る9月11日当クラブ主催のジムカーナが開催されました。岩手県シリーズということでビギナーの参加が多く、車検でタイヤなど不具合箇所を指摘されるエントラントもいました。また当クラブとしてもジムカーナの主催は初めてで、コース取りなどともどもありました。

さて競技の方ですが天気にも恵まれスムーズに進行しました。クラスによってはワンメイクレース的な参加車種で、これが現実なのかなと思いました。AⅡクラスでは、まだJAF戦のようにミラージュは活躍できずCR-Xやシビックに負けてしまいましたが、AⅢクラスでは見事ランエポが勝ち、舗装でもランエポは速いことを証明しました。大きな事

CMSC大阪 小出久美子 レディースドライビングスクール

モータースポーツ「ダートトライアル」を知り、おもしろそうだワとさっそく参戦。しかし、成績はさんざん。「ここでやめたら女がすたるワノ」と走り続けて早15年。関東、関西のレディースチャンピオン、4年連続全日本レディースチャンピオン、さらに地区戦にも改造車クラスでシリーズ4、5位と結果を残し、最近では全日本ダートトライアルにもランサーでチャレンジし、張り切っています。

そんな走るばっかりの私も、何かモータースポーツで得た事が役に立たないかと思うようになりました。そして、ミラージュで全日本ラリーに参戦して

故もなく無事終わりました。今年も開催することになると思いますが、参加台数を増やして盛り上がる大会にしたいと思います。

(CMSC岩手 工藤 守)



三菱賞1位佐藤春彦選手、2位竹田宏国選手、3位岩瀬正文選手(左より)

秋晴れのもとランサー独走

秋の長雨、台風と心配された天気も当日は久しぶりの晴れの日曜となりました。会場の岩手高原は家族連れや若いカップル、空にはパラグライダー、そして雄大な岩手山とさわやかな風が最高の舞台を作ってくれました。コースコンディションもよく白熱した闘いが展開されました。

結果はランエポの独壇場といった感じで、オーバオールはCⅢ・Dの堀籠選手、2位もAⅢの四戸選手と三菱車が上位を占めました。表彰式では、ストローをかけた最後のジャンケン大会が大変な盛り上がりでした。最後に、出走台数が少なく感じられたこと(稲刈のためか)が心残りでしたが、事故もなく無事終わることが出来て幸いでした。

(CMSC岩手 工藤 守)



ずっと走り続けたい!

いる主人達の協力、ペーパードライバーの為に「レディースドライビングスクール」を2年前から毎月1回開催することができるようになりました。モータースポーツなど何も知らなかったお嬢様、奥様、お婆様(失礼)も、レッスンの時にモータースポーツの話をしたり、ビデオを見ていただいたりした甲斐があって、「ランサーが走っているのを見たい」「となりに乗ってみたい」という希望がのり、今回10月5日、5回目の同乗走行会を開催することができました。

今までテレビ、新聞等から取材をして頂き、地道

な活動を一般の方々にも知って頂くことができうれしく思います。これからも走り続けながら、これらの活動も続けていきたいと思っています。モータースポーツが好きだから!



CMSC島根 9月25日

CMSC島根ジムカーナ

大会当日は絶対晴れるCMSC島根のイベント。でもいつも前夜が「荒れる」んです。前回のジムカーナ前夜は集中豪雨。昨年のダートラ前夜は車が池ポチャ。今回のジムカーナでは一体何が起こるんだろうと一同わくわくして(?)準備を進めていました。その夜、期待いや不安は的中。なんと初秋なのに指のツメ大(ノ)の巨大な「ひょう」がドカドカ

またまた前夜に大荒れ

ドカッ!と降り出したのです。皆「イテテッ」と頭を抱えながら軒下に飛び込みましたが、クラブ員の愛車が見るうちにボコボコになっていくの指をくわえて見ているだけしかないというシチュエーションは、涙なくして語れません。

でもこれで悪運払い。当日9月25日は好天に恵まれ、ノントラブルで競技は進みました。ただ、会場費削減のため他クラブと1日2大会という日程で開催したため、過密なタイムスケジュールに追われて「楽しいイベント」という特色が打ち出せなかったのはいささか残念でした。ただ、毎度のスピーディ

な運営とクラブ員の心のこもった対応で、好評のうち大会を終えることができました。今年は1年1イベントに戻し、特徴ある大会にいたします。

(CMSC島根 古藤 浩美)



AⅣクラス CMSC青森 館山正嗣



AⅣクラス CMSC香川 白井 修



CⅢクラス
CMSC山形
鈴木功敏

CMSC浜松 設立後の活動報告

当クラブも'94年4月に誕生して、はや8ヶ月が立ち、シーズンも終わりになりました。クラブ誕生の年ということでクラブ員皆積極的にイベントに出場しましたが、結論から言うところとちょっとガンバリすぎてホイールスピが多すぎたかなと言う感じです。

まず全日本ダートトライアルですが、シーズン途中から丸山がミラージュカップに全力を注ぐために欠場となり、3カーエントリーが2台になってしまいました。そして伊藤、布留川ともども車輛トラブルが多く思うように成績が残せませんでした。伊藤はシーズン後半より調子が出てきましたが、布留川

誕生の年は頑張りすぎた？

は今シーズン転倒2回でオールスターも出場できず散々な年となってしまいました。しかし、中途採用の西川美佳がオールスターでレディース3位となり一矢を報いました。ミラージュカップはレースに専念した丸山がスズカではトリングアーム破損で14位、フジでは決勝でミッション交換をしてスタートしましたが2周でコースアウトでこちらもいまひとつでした。来年は2カーか3カーで頑張りようと思います。地方戦ダートトライアルはD地区で戦っています。この地区は榊田さんがいるためになかなか1位が取れません。やっかいなおやじです。しかし全

日本と掛持ちの伊藤と布留川が1勝ずつ取っており、シリーズ4位と3位です。レディースも西川美佳、野川真利江でワンツーでした。

イベント出場ばかりになってしまいましたが、近隣のクラブの方々と練習会などでもしたいと思っています。その時はよろしくをお願いします。

(CMSC浜松 荒津 啓司)



CMSC道北 総会開催 無事設立して

去る、11月5日「CMSC道北」の第1回総会を無事開催する事が出来ました。当日はクラブ員約30名と、今後主管販売会社としてお世話頂く、旭川三菱自動車販売株の松永社長様、道北三菱自動車販売株の高遠社長様、ラリーアートシニアマネージャーの須賀様に、大変お忙しい中ご出席賜り、今後の当クラブの活動に深いご理解を頂きました。出席した

クラブ員の意欲高まる!

クラブ員全員がCMSCという全国規模のクラブの大きさとその功績を新たに認識し、今後の活動に強い意欲と責任を改めて感じる事が出来る良い機会となりました。

また、総会終了後の親睦会では個々にその友好をほのぼのとした雰囲気の中で深め合うことができ、本当に楽しい一日を過ごすことができました。今後

は、このクラブが末永くその活動を継続し、より一層意義のあるものとなるようクラブ員全員で努力していきたいと思えます。

(CMSC道北 栗澤 傑)



CMSC山形 9月4日 CMSC山形ジムカーナ

'94年9月4日、東北シリーズ第9戦CMSC山形ジムカーナを開催しました。今回で3回目の開催となりオフィシャル、その他関係者も勝手知ったる何のそのではないですけど、準備の方もスムーズに進みました。しかし、参加台数の方は70台と少なく多少ガッカリしました。(2、3年前のダートラの様

テクニカルコースに反省!?

です)シリーズも後半戦になりますとポイントの方もある程度決ってしまう為、仕方ないのかもしれませんが。

さて競技会の内容ですが、蔵王リゾートサーキット(駐車場)という会場なので当然パイロンコースとなるわけですが、今回は高速スラロームあり、8の字ターンあり、360°ターンありとエントラントには一瞬たりとも気の抜けないテクニカルなコース設定としました。その甲斐あってか?ゴール手前20mでコースアウトする車が何台もあり終了が遅れてし

まう結果になり、反省点にもなってしまいました。今年も開催の予定がありますので、その時は反省点のない競技会にしようと思っています。(CMSC山形 菅野 茂)



昨年の覇者群馬、ここでトップに躍り出る!

'94チャレンジカップ

前回までトップを維持していた帯広に強豪群馬が襲いかかりトップに。山形が2位を維持して帯広は3

位に後退です。個人部門では女性陣の活躍が目につけています。いよいよ終盤、申告漏れのないように!

●クラブ別獲得ポイント

	1-5月	6-8月	9-11月	12月	合計
群馬	621	395	658		1674
山形	403	733	349		1485
帯広	800	454.5	190		1444.5
岐阜	465	502	243.5		1210.5
福島	342	-	666.5		1008.5
大阪	347	164	456		967
香川	304	476	161.5		941.5
浜松	0	365	286		651
広島	262	245	85		592
青森	282	-	248		530
岩手	94	222	178		494
札幌	158	200	105		463
島根	226	172	53		451
千葉	87	95	57		239
愛知	122	6	104		232
仙台	98	54	71		223
栃木	34	31	94.5		159.5
埼玉	13	-	19		32
道北	-	-	-		-

●ラリー・ドライバー部門

小林 康弘	帯広	188
渡辺 俊昭	山形	130
勅使川 原光	千葉	111
奴田 原文雄	札幌	95
松 井孝夫	愛知	74
鷺見 宏康	岐阜	74
丹羽 浩道	千葉	71
細村 謙一	群馬	65
中島 辰美	帯広	52
福本 光志	帯広	43.5

●ラリー・ナビゲーター部門

伊吹 浩明	帯広	278.5
佐藤 忠宜	福島	117.5
坂田 信一	愛知	74
細村 祐子	群馬	65
加藤 徹	岩手	38
中村 洋次	帯広	38
遠藤 昇	仙台	32
平尾 高王	香川	28
生井 史枝	帯広	21.5
神高 浩	香川	21

●ダートトライアル部門

荒井 信介	群馬	504
小出 久美子	大阪	498
大井 こそゑ	群馬	490
榊田 正文	岐阜	389
秋間 忠之	大阪	361
高竹 優之	香川	356
赤羽 政幸	山形	351
針田 信夫	岐阜	349
大井 義浩	群馬	315
鈴木 功敏	山形	294

●ジムカーナ部門

須田 行雄	福島	324
上泉 晃祥	福島	258
宮本 和彦	福島	195
小館 久	青森	156
青沼 達也	帯広	102
杉坂 啓一	島根	89
江上 逸人	栃木	74.5
工藤 裕史	青森	72
植田 智則	島根	63
面野 一	帯広	62

●レース部門

福田 光一	山形	141
小川 日出生	山形	43
高橋 滋	仙台	34
川口 法行	栃木	27
清水 直人	栃木	15
小出 辰彦	愛知	15
山川 敏宏	山形	14

●ポイントのつけ方

	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位	11位以下	リタイア
ポイント A	40	30	24	20	16	12	10	8	6	4	2	1
ポイント B	20	15	12	10	8	6	5	4	3	2	1	0.5

リタイアには予選通過も含む

A = 全日本選手権、地方選手権

但し、ダートトライアルにはオールスターダートトライアル

ジムカーナにはJAF CUPジムカーナ

レースにはフォーミュラ・ミラージュ、ミラージュカップを含む

B = それ以外の競技会